

本書の使用法

本書の構成は「総目次」, 「件名索引」, および「著者索引」よりなり, それらは次のような方針で編集されております。

1. 収録範囲は, 雑誌「理学療法と作業療法」第 1 巻第 1 号 (1967 年 1 月) より第 20 巻第 12 号 (1986 年 12 月) にわたり, その全発行号に掲載された記事を収載いたしました。「総目次」につきましては完璧を期しましたが, 「件名索引」, 「著者索引」につきましては“索引号”としての性格上, 引かれる機会のないと思われる記事につきましては割愛させていただいた分がありますので, それぞれの凡例を御参照下さい。
2. ページ数を節約のため, 欄名につきましては下掲のような略称を用いました。「件名索引」, 「著者索引」を御利用の際, 御参照下さい。() 内が正式な欄名です。

特 (特集), **講** (講座), **研** (研究と報告, 懸賞受賞論文, 短報), **考** (考察), **論** (論説, 講演, 特別寄稿), **扉** (とびら), **症** (ケーススタディ, 症例報告, 症例の検討と反省, 反省させられた症例), **精** (今日の精神科作業療法, 精神科作業療法の展開, 精神科作業療法の実際, 精神科作業療法), **展** (展望), **紹** (紹介, 報告, 話題, 世界の同僚, リハビリテーション・インフォメーション, 施設紹介, 養成校紹介, 私の職場), **調** (調査, 私の体験記), **解** (実務の実際, 隣接領域から, メディカルプロGRESS, プロGRESS, グラフ, グラフ解説, あんてな, 誌上カンファレンス, 誌上討論), **座** (座談会, 特別座談会, 対談, ミニ対談, インタビュー, チームの中の PT・OT), **器** (器具の管理, 器具の使い方, 器具の紹介, 私の工夫, プラクティカル・メモ), **語** (リハビリテーション英語講座, Glossary), **印** (学会印象記, 印象記, 学会から, 見聞記, 海外だより), **資** (資料), **歴** (協会 10 年の歩み), **誌** (雑誌レビュー), **評** (Recommended Readings), **悼** (追悼), **質** (質疑応答, Q & A, 質問箱), **雑** (創刊を祝す, AJOT からの依頼, トピックス)

注: 欄の数が創刊以来 90 余に上るため, それらの欄名のすべてに略称を用いることは“略称→正式な欄名”への照合に, かえって煩雑な作業を読者に強いることになりますので, 性格を同じくする欄をまとめ, 略称にしました。確実を期される際は本号の「総目次」の項 (2 頁—99 頁) を御参照下さい。

3. その他, 使用法の詳細につきましては, それぞれの凡例を御覧下さい。
件名索引凡例: 104 頁
著者索引凡例: 197 頁
4. 本索引号中に記載について誤りがありました場合は, 御面倒ながら編集室までお知らせください。後日まとめて正誤表を, 本誌誌上に掲載いたします。なお, 他にお気づきの点は, 次回編集の参考としたいと思いますのでお知らせください。

「理学療法と作業療法」編集室